

千葉大学病院にて子宮頸管狭窄症の治療を受けられた患者の皆様へ

2025年1月21日

産科・婦人科

婦人科では、萎縮性膣炎を有した閉経後の患者様で子宮頸管狭窄症の治療成績に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2018年1月1日～2023年11月30日の間に当科で萎縮性膣炎を伴った子宮頸管狭窄症の治療を受けられた方

1. 研究課題名

「萎縮性膣炎を有した閉経後女性の子宮頸管狭窄症に対するエストリオール内服薬の有効性の検討」

2. 研究期間

承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

萎縮性膣炎を伴った方で閉経後に子宮頸管が狭窄すると子宮内膜細胞診検査などの子宮内膜病変に対する検査を行うことができません。当科では2018年から閉経して子宮頸管狭窄症と診断され、子宮内膜の検査を行う必要がある患者さんに対し、女性ホルモンを一定期間投与してから検査を行ってきました。この研究は、閉経後子宮頸管狭窄症の診断を受けてから当科で女性ホルモンを投与され、その後子宮内膜の検査を行った方の治療経過を解析し、今後の治療に役立てることを目的とします。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

当科で萎縮性膣炎を伴った閉経後の子宮頸管狭窄症に対し治療を行った患者様の診療記録より、以下の情報を調べて、研究に用います。

患者年齢、妊娠分娩歴、子宮頸管狭窄症の診断に至った検査、子宮内腔病変の種類、エストリオール内服薬内服終了後の検査、頸管狭窄症の改善度、エストリオール内服薬の病理組織診断への影響、子宮内腔病変の治療転帰

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長

研究責任者：千葉大学医学部附属病院 産科・婦人科 教授 甲賀かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学研究院産婦人科学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院産科・婦人科 教授 甲賀かをり

043(222)7171 内線6893